

◎ 実効ある悪臭改善対策を

**問** 養豚業者の悪臭はまだまだひどい。「改善計画」通りすすんでいるのか。今後の対応は。

**答** 浅羽南地区の苦情は35件寄せられており、十分改善されていない状況である。計画通りの実施を指導し、なお改善がみられない場合には、「改善命令」も視野に入れ対応する。

◎ 高すぎる国保税、重すぎる窓口負担

**問** 昨年度の大幅税率引き上げで滞納額も1年間で実に1億円以上も増えている。高くて払えない状況ではないか。

**答** 本市の国保税が少し高めの負担感になっている。今後、一般会計から法定外の繰り入れ

をすることで、負担軽減を図る段階がきていると感じている。

**問** 支払い困難な方のため、国保税や窓口負担金(一部負担金)の減免を拡充すべきではないか。

**答** こうした減免要綱は、単に、一市や近隣市での判断でなく、国や県で明確な基準を定めていくことが望ましい。



専門業者による臭気測定

◎ 女性特有のがん対策の継続は

**問** 本事業は、受診率50%目標を達成するために大変有効と考える。来年度以降も継続事業とするか。

**答** 来年度の国の検診事業に対する実施方針は定まっていないが、本市としては、継続していきたい。

◎ 通学路の安全性はどうか

**問** 自転車通学の安全性を確保するため、県道への防護柵設置をどのように考えるのか。

**答** 自転車の接触等の危険が最も心配である。道路交通法に沿った乗り方の指導を徹底し、安全確保の上で防護柵の設置を県へ要望していきたい。

◎ 経済危機対策の本市の取り組みは

**問** 特に環境や地域と一体化した事業など、安定的な雇用継続が望まれる事業を拡大促進しては。

**答** 本市は、既に環境事業として不法投棄ゴミの回収などに取り組んでいる。さらに地域と一体化した事業については、他市の例を参考に引き続き検討していきたい。



防護柵の設置が望まれる県道(浅羽中南側)